

まごころ高槻

2021

9

Sep.

Vol.19

特集

放射線診断センター MRI

救急室改修工事完了のお知らせ

日本看護協会 会長賞 受賞

下肢静脈瘤の診療を開始しました!

手術室における取り組み

Let's COOKING! From 栄養課

診療所ご紹介

Topics / INFORMATION



人にやさしいMRI検査で、 脳疾患や脳血管疾患を早期発見

このたびみどりヶ丘病院の放射線診断センターでは、病気の正確な診断に欠かせないCT、MRI、アンギオ装置(血管造影装置)がすべて新しくなりました。それぞれ特徴があり、検査の目的や患者さんの状態などによって使用する装置を選択しています。今号ではMRIのしくみ、特徴、注意点についてご紹介します。

■MRIについて

磁力を使い、水分を含んでいる箇所を撮影

MRIは「Magnetic Resonance Imaging(磁気共鳴画像)」の略称で、磁石と電波を利用して体内にある水素原子の情報を読み取り画像にします。同じような装置にCTがありますが、こちらは放射線を高速回転で照射して画像にします。MRIは得られた情報を何回も重ねて画像化するため最低でも10分以上かかり、CTが2~5分で終わるのに比べると検査に時間がかかります。また、装置内で振動による大きな音が発生するため、患者さんによっては気になるかもしれません。

このような弱点はありますが、MRIで得た画像は白黒のコントラストに優れ、早期の脳梗塞の確定診断をはじめ、脊椎、四肢、膵管、胆管などの病気に高い検査能力があります。

検査時の音が軽減され、楽な体勢で受けられる

新しく導入したMRIは画像が良質で、血管は造影剤を使用せずに細部の画像を得ることができま。また、キャノン製で、国産ならではの患者さん

へのやさしい配慮がなされています。例えば、従来の装置に比べて音が抑えられ、リラックスした状態で検査を受けられるよう頭を高くしたり、ベッドが低くまで下がり楽に乗り降りができます。

操作する技師にとっても、オートマチックで操作できる部分が増え、熟練度に左右されずに優れた画像を撮影できるようになりました。

強い磁場が発生するため注意が必要

CTは放射線を使用するため多少の被ばくがありますが、MRIはその心配はありません。ただし強い磁場が発生するため、心臓ペースメーカー、人工内耳を使用している方などは基本的に検査を受けることができません。血管内のステント、骨折のプレートなどが入っている方も注意が必要です。また、装置は閉塞感があるため、つらい方もおられるかもしれません。しかし実際には見た目以上に開放感があり、検査中も技師とコンタクトが取れ、必要時は検査を中断できるようになっています。待ち時間も少なくするよう努めていますので、安心して検査を受けていただければと思います。



放射線課 課長
診療放射線技師

今井 泰光

Yasumitsu Imai



Canon Vantage Elan Zen Edition (1.5テスラ)

■脳神経外科におけるMRI

脳疾患、脳血管疾患の正確な画像診断を目指す

放射線診断センターとの連携のもと、脳神経外科と脳卒中センターでは、脳卒中、脳腫瘍、水頭症、三叉神経痛、顔面けいれんなどの脳疾患、脳血管疾患の診断と治療を行っています。

画像検査は、現在では診断のみならず、手術支援などの治療補助手段や治療効果判定で多く行われています。放射線診断センターには画像診断のスペシャリストとして放射線科医が在籍していますが、単独で画像診断に関する膨大な最新知識を常に入手し、正確な診断を行うのは容易ではありません。そこで脳神経、脳血管の領域に関しては、脳神経外科と脳卒中センターが連携し、効果的・効率的な画像診断を行い、患者さんの利益になるように努めています。

検査目的によって最適なMRI検査を選択

脳神経外科で実施するMRI検査には、頭部MRI、頭部MRA、頸部MRAの3つがあります。MRI検査は、脳腫瘍、脳梗塞、脳出血などの病変の有無を調べ、特に脳梗塞の早期診断に優れています。頭部MRAは、MRIと同じ装置を使って脳の血管だけを映し出し、くも膜下出血の原因となる脳動脈瘤のほか、脳血管の閉塞や狭窄、脳

血管奇形などを検査します。頸部MRAは、頸部血管の狭窄の有無を発見します。新しいMRI装置では、これらの検査時間が短縮され、良質な画像を得られるようになりました。

MRIで緊急を要する初期の脳梗塞を診断

当院は24時間365日体制で救急を受け入れ、脳卒中前後の患者さんの入院は年間400人にのぼります。脳疾患や脳血管疾患の診断、治療に画像検査は非常に重要で、特に脳卒中の患者さんは早期の診断と治療開始が不可欠です。そこでMRI、CTの特徴を踏まえ、適切な検査を行っています。

検査時間が短いCTは、救急時の初期診断として力を発揮し、くも膜下出血、脳出血などの診断に優れています。しかし症状が出現してから6~8時間未満の脳梗塞は診断できないことがあります。それに対しMRI検査は、症状が出現して間もない脳梗塞が診断可能で、CTでは診断困難な脳幹部梗塞、血管の狭窄や閉塞、脳動静脈奇形やもやもや病などの血管病変、脳動脈瘤の診断に優れています。

脳疾患の患者さんは合併疾患が見つかる場合も多くあります。各診療科と連携し、効率的な検査、診断、治療を進めています。

副院長 兼 脳神経外科部長

高橋 一浩

Kazuhiro Takahashi

大阪医科大学医学博士
日本脳神経外科学会専門医
日本脳卒中学会専門医



救急室改修工事完了のお知らせ



2021年5月より救急室改修工事を開始し、6月に完了いたしました。工事期間中は診察室の場所変更、騒音の発生など、皆様にご迷惑をおかけし、たいへん申し訳ございませんでした。

工事の目的としては、救急室のスペース拡張による「感染対策の強化」「医療体制の効率化」「医療機器の導入による診療体制の強化」であり、本院が目指す救急医療を中心とした急性期ケアミックス病院への発展に向けた一歩です。

改修後の救急室は、旧救急室と比較し格段に広いスペースを確保し、搬送のための出入り口を自動扉へと変更しています。これにより、複数の救急車を同時に受け入れた場合でも、迅速かつ適切な対応が可能となりました。

救急外来は24時間365日稼働しており、救急車以外の急病・外傷患者さんの治療も行っています。救急救命士も在籍しておりますので、病院・関連施設間での搬送も可能です。

今後も、「まごころの医療と福祉を通じて地域に貢献します」という理念のもと、スタッフ一同医療技術の向上に努めます。

外科・整形外科の診察室が移動しました

救急室改修工事に伴い、外科・整形外科診察室の場所が変更となりました。





入退院支援センター 永島 由紀子看護師が 日本看護協会 福井トシ子会長から会長賞を授与されました。

入退院支援センターの永島看護師が、公益社団法人日本看護協会 会長賞を受賞しました。この賞は、看護業務に特に顕著な功績があったと認められた人に贈られる賞です。今回の受賞は、永島看護師が長年にわたり、看護の質向上に向けて精力的に活動を続けたことによるものです。

永島看護師の喜びの声

日本看護協会職能委員として、現場の意見を集約し職能の抱えている問題から今後取り組むべき課題の抽出・整理を行い、協会に提言する役割を約6年間担ってまいりました。大阪府北支部代表の委員として、急性期・回復期・慢性期・老健施設・在宅部門にて多職種が働き続けられる職場づくりの方法を提案し、地道に実践し続けてきたことを評価していただき受賞にいたしました。多方面で支えてくださった皆さんに、深く感謝いたします。



左より蒲田看護部長、永島看護師、新井病院長

【日本看護協会とは】

日本看護協会とは、看護の資格(保健師・助産師・看護師・准看護師)を持つ個人が自主的に加入し運用する日本最大の看護職能団体です。みどりヶ丘病院は大阪府北支部に所属しています。

下肢静脈瘤の診療を開始しました！

【心臓・動脈だけでなく静脈の治療を行い、1つの施設で循環に関する治療を完結させ、今まで以上に地域医療に貢献する】という想いから下肢静脈瘤の診療を開始しました。

「下肢静脈瘤」とは、日常によくみられる病気であり、下肢の静脈が太く浮き出ているものを指します。下肢の静脈の弁が壊れ、血液が静脈内に停滞して拡張することで発症します。

下記のうち、1つでも当てはまる項目がありましたら下肢静脈瘤血管内治療実施医の羽野までお気軽にご相談ください。

- ① 下肢のしびれ・痛み・だるさ
- ② 足のむくみ
- ③ こむらがえり
- ④ 足の血管がぼこぼこ浮き出ている
- ⑤ 足首から上の皮膚の色が変わっている、硬い、えぐれている



下肢静脈瘤血管内治療実施医
循環器内科 医長

羽野 嘉文

Yoshifumi Hano

※当院は日本脈管学会認定脈管専門医並びに下肢静脈瘤血管内治療実施医を有する実施施設です。

手術室における取り組み



当院の手術室は、整形外科、消化器外科、脳神経外科、眼科、泌尿器科、形成外科、皮膚科、循環器科の手術を年間約1,300件行っています。手術と聞くと「暗い」「狭い」「怖い」などネガティブなイメージを持たれる方も多いと思いますが、患者さんが不安を感じないように手術室スタッフ一丸となり、日々業務に取り組んでいます。

手術看護認定看護師 山下 祐一



主な取り組みの例としては、全身麻酔で手術を受ける患者さんに対して術前訪問を実施しています。その手術を担当するスタッフが訪問し、手術する上で必要な情報をお伺いし、患者さん一人ひとりに合った看護を実践できるように取り組んでいます。訪問時は患者さんが抱えている手術に関する疑問や不安を少しでも緩和し、解決できるように心掛けています。長時間におよぶ手術では、担当スタッフが術中にご家族へ手術の進行状況を説明しに伺います。

また、手術後も術後訪問を実施しており、手術後の患者さんの身体の状態を確認します。

私たち手術スタッフは、患者さんが様々な合併症を引き起こすことなく手術を終え、安心して退院できるように看護を行います。



Let's COOKING! From 栄養課

梨とセロリのマリネ

秋はスポーツの秋とも言われますね。みずみずしくさっぱりとした梨は、運動後でも食べやすい果物です。また、梨には豊富な水分だけでなく、リンゴ酸やクエン酸が含まれており、疲労回復効果が期待できます。

今回はそんな梨を使ったセロリマリネをご紹介します。様々な品種で味の違いを感じ、食べてみるのも良いでしょう。



〈1人当たりの栄養価〉 エネルギー量…87kcal
たんぱく質…0.6g 脂質…5.2g 食塩相当量…0.2g

材 料 (1人分)

梨 …………… 30g
大根 …………… 25g
セロリ …………… 25g
パプリカ(赤) …… 10g
パプリカ(黄) …… 10g

マリネ液

梨 …………… 30g
レモン(果汁) …… 3g
オリーブ油 …… 5g
穀物酢 …………… 2g
食塩 …………… 0.2g

作り方

- ①マリネ液用の梨をすりつぶし、レモンは絞って、マリネ液用材料を混ぜる。
- ②梨を5mm細切り、その他の野菜を千切りにし、マリネ液に漬け込み和える。
- ③野菜がしんなりするまでラップをして冷蔵庫に入れておく。

COOKING MEMO

梨にはリグニンやペントザンといった難消化性の食物繊維が含まれています。消化されにくく、腸を刺激するため、便秘の予防や改善に役立ちます。皮がザラザラしていて色むらがなく、張りや重みがあるものがおすすめです。

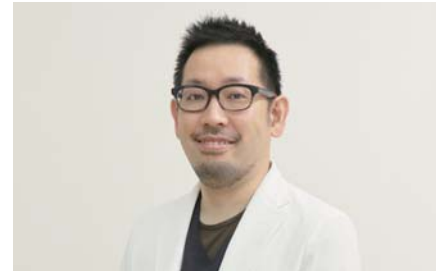


診療所 ご紹介

当院では地域の開業医の先生方と緊密に結びつき、大切な患者さんの紹介や逆紹介などの連携を行っています。スムーズな情報共有によって当院と共に地域の医療を支える「医療連携協力機関」をご紹介します。

芥川きどクリニック

院長 城戸 晴規



〒569-1121 大阪府高槻市真上町1-3-28
TEL 072-685-0161
<https://kido-paincl.com/>
【休診日】水曜日午後、土曜日午後、日曜日・祝日
※事情により休診する場合があります。

■芥川診療所からの承継開院にいたった経緯は？

前診療所である芥川診療所は、大阪医科大学麻酔科学教室の大先輩である芥川知明先生が開設され、30年以上にわたり地域の医療を支えてこられました。その芥川診療所が閉院するかもしれないという噂を聞き、自ら手を挙げさせていただきました。

■ご専門分野について

痛みを治療する「ペインクリニック」を専門としています。また、麻酔科医として培ってきた知識で、ホームドクターとして全身管理もさせていただいています。

■地域の皆さんへメッセージ

当院は、あらゆる痛みを様々な角度から総合的に判断し、緩和させることを目的とした診療所です。ブロック注射を得意としておりますが、注射以外にも内服薬、漢方薬、リハビリテーションを用いて患者さん一人ひとりに合った治療法を選択します。地域の皆さんのお役に少しでも立ちたいと思っていますので、お気軽にご来院ください。

Topics 新たに専門の資格を取得しました

みどりヶ丘病院スタッフは、地域医療への貢献を目的とし、特定の分野で高い専門性を持つスペシャリストとなるため日々研鑽を積んでいます。そのような中で専門の資格を取得したメンバーをご紹介します。

日本人工関節学会認定医

整形外科

やまぞえ しょういち

山添 勝一 医師

日本人工関節学会認定医
日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医

整形外科

すぎたに かずや

杉谷 和哉 医師

日本リハビリテーション医学会
リハビリテーション科専門医

整形外科

いけがみ あきら

池上 徹 医師

日本整形外科学会専門医

整形外科

いでい ちひろ

出射 千裕 医師

義肢装具等適合判定医師

脳神経外科

てらだ ゆきえ

寺田 幸恵 医師

日本内視鏡外科学会技術認定医
(消化器・一般外科領域)

一般・消化器外科

ひらもと ひでかず

平本 秀一 医師

aiboのアイちゃんが仲間入りしました

ソニー株式会社とエムスリー株式会社による医療機関支援プロジェクト『CaNoW』に参加し、自律型エンタテインメントロボット「aibo(アイちゃんとネーミング)」を導入しました。

- 外来での待ち時間のストレス軽減
- 手術時の不安解消
- リハビリ時の訓練の一環
- 患者さんとご家族とのコミュニケーションツールなどに活用しています。

実際にふれあった患者さんたちが、「アイちゃんはどこ？会いたい」とたずねに来られるなど大人気です。みどりヶ丘病院スタッフとして笑顔あふれる病院にする手助けをしてくれています。



榎田診療所にて、新型コロナウイルスワクチン接種対応を行っています

6月より、みどりヶ丘ヘルスケアグループ施設である榎田診療所へ当院から医師・看護師・救急救命士を派遣し、榎田地区の地域の方々への新型コロナウイルスワクチン接種対応を行っています。



セレマコーヒーマルシェが開催されました

株式会社セレマ様が、医療従事者支援「SPECIAL THANKS！コーヒーマルシェキャンペーン1,000人の医療従事者にコーヒーをお届けします」として、淹れたてのコーヒーを届けに来てくださいました。スタッフ一同、感謝申し上げます。



編集後記

7月、56年ぶりに東京でオリンピックが開催されました。様々な種目でメダル獲得の様子がテレビで放映されているのを見ていると、感動して思わずガッツポーズしてしまいました。当院でも、受賞や資格取得の話題が多くあり、取材を通してスタッフの声を聞くと、そこには受賞などに込められた想いがありました。広報担当として、そんな【想い】を紙面に載せていけたらいいなと思います。



ご意見・ご感想・お問い合わせはこちらまで

病院広報
電話番号

072-681-5764



midori-info@midorigaoka.or.jp

